

令和2年 1月10日(金)
国土交通省 関東地方整備局
富士川砂防事務所

記者発表資料

大規模土砂災害を想定した合同防災訓練を実施します。 ～富士見町・長野県・国土交通省が参加～

【訓練の目的】

本訓練は、近年の大規模土砂災害の多発や、それに対する各種法整備状況を踏まえ、情報収集・共有体制、土砂災害防止法・災害対策基本法に基づく各関係機関の対応、「大規模土砂災害等の対応に係わる連携要領(案)」に基づく災害対応行動の内容を確認することを目的として実施します。

訓練は、町・県、国土交通省等の各防災担当者を対象とし、災害発生前から大規模土砂災害の発生、情報収集・共有体制、土砂災害防止法・災害対策基本法に基づく各機関の対応、住民避難、避難解除までの一連の流れを想定した合同防災訓練を実施します。

【訓練の概要】

- ◆訓練名 : 令和元年度 大規模土砂災害を想定した合同防災訓練
- ◆訓練実施日 : 令和2年1月15日(水)13:00～16:30
※気象等状況により、中止する場合があります。
- ◆訓練実施場所 : 富士見町コミュニティプラザ
(長野県諏訪郡富士見町富士見3597-1)
- ◆参加機関 : 富士見町、長野県建設部砂防課、長野県諏訪建設事務所、
長野県諏訪地域振興局、富士川砂防事務所
- ◆訓練想定事象 : 豪雨に伴う、天然ダムの形成や地すべりの徴候及び同時多発的な土砂災害の発生
- ◆訓練方式 : 司会進行者(質問者)と訓練参加者(回答者)との質問回答方式
- ◆訓練行動 : 情報収集・伝達・情報共有・警戒避難・支援要請等
- ◆主催 : 富士川流域砂防連絡会

※報道機関の皆様へ

- ・当日の取材は可能です。12時30分から受付を設けますのでお申し出下さい。
- ・写真撮影は、会の進行の妨げにならないようにお願いします。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、長野県庁会見場

問い合わせ先

関東地方整備局 富士川砂防事務所
電話055-252-7108(代表) FAX055-252-1956
いちば さとし
地域広報官(副所長) 一場 敏 (内線204)
さとう かずとし
建設専門官 佐藤 和利 (内線511)

大規模土砂災害を想定した合同防災訓練の概要

1. 訓練の内容

大規模土砂災害（天然ダム、がけ崩れの同時多発的な土砂災害）が発生したことを想定した合同防災訓練を実施します。この訓練により、富士川砂防連絡会の構成員が、大規模土砂災害における減災活動や災害対応の円滑化のため、大規模土砂災害における災害対応等の相互確認や最近の土砂災害で得られた課題等を確認することを目的とします。

2. 対象とする災害

台風接近に伴う豪雨により、長野県諏訪郡富士見町内に河道閉塞（天然ダム）や、がけ崩れが同時多発的に発生したと想定します。なお、豪雨は昭和57年8月の台風10号に匹敵する雨量を想定します。



想定災害発生箇所

3. 訓練のスケジュール

時間	内容
12:30~13:00	集合・受付
13:00~13:05	開会・挨拶（富士見町長）
13:05~13:20	訓練の進め方の確認（訓練前アンケート記入）
13:20~15:50	訓練（学習型方式）
15:50~16:20	参加者によるふりかえり（訓練後アンケート記入）
16:20~16:30	閉会挨拶（富士川砂防事務所長）
16:30	閉会・解散

4. 参加機関

参加組織	
富士見町	富士見町
長野県	建設部 砂防課
	諏訪建設事務所 整備課
	諏訪地域振興局 総務管理課
国土交通省	富士川砂防事務所
	釜無川出張所
防災エキスパート	

5. 訓練のながれ

訓練時間	主な付与状況
	■ステージ0:情報収集・警戒対応ステージ（40分間）
13:20~	【状況0】・台風の接近、警報発表
	【状況1】・土砂災害警戒情報の発表（8月2日（金）5時） …警戒レベル:4
	【状況2】・大雨特別警報の発表（8月2日（金）7時） …警戒レベル:5
	■ステージ1:初動対応確立ステージ:同時多発型土砂災害（30分間）
14:00~	【状況3】・富士見町各所で土砂災害の一報（8月2日（金）9時30分） ⇒町内複数箇所から土砂災害発生の通報
	【状況4】・要配慮者利用施設付近でがけ崩れの発生を確認 ⇒机地区のがけ崩れ状況を現地確認
	【状況5】・富士見町内で同時多発的な土砂災害の発生を確認 ⇒箇所数、位置、被災状況などを把握
14:30~	休憩（10分間）
	■ステージ2:初動対応ステージ:河道閉塞(天然ダム)（50分間）
14:40~	【状況6】・富士見町町内で河道閉塞形成の第一報（8月2日（金）13時） ⇒机地区の住民が釜無川の流量が減少していることを発見・通報
	【状況7】・予備調査（ヘリ調査等）結果に基づく要件の確認 ・土砂災害防止法に基づく緊急調査着手の通知
	【状況8】・土砂災害防止法に基づく土砂災害緊急情報の通知及び周知
	■ステージ3:応急対策ステージ（20分間）
15:30~15:50	【状況9】・応急対策・監視観測計画(河道閉塞)の説明

学習型防災訓練とは

■ファシリテーター（司会進行役）が災害シナリオに沿って質問を投げ掛け、訓練参加者に回答を求める質疑応答型の訓練です。

■特徴

- ・司会進行役の状況説明（シナリオ進行）を聞くことによって参加者全員が災害対応行動等の流れを共有・理解できます。
- ・各機関の回答を全員が同時に聞くことによって、他機関がどのような対応をしているのか理解できます。
- ・時間軸にとらわれないため、場面を区切った訓練ができ、その都度、補足や解説を行うことにより理解度の向上が図れます。

司会進行役が災害状況（シナリオ）を説明しながら訓練参加者に質問

指名された機関が状況を踏まえて対応すべき行動を口頭で回答



■基本的な進め方

「進行者」と「訓練参加者」に分かれ、状況提示を行った上で、「進行者」が対応について質問し、これに「訓練参加者」が回答する形式で進行する。このように、逐次対応する形で行うので、実時刻に基づいた進行とはなりません。

